聖霊降臨節第 21 主日永眠者礼拝説教要旨(10 月 11 日)

『正しい人の祈り』早川 真牧師

ヤコブの手紙 5:13-16

ここで言われている正しい人とは、どのような人のことでしょうか。的外れなことを全くしない人のことでしょうか。そのような人は一人もいないと聖書は告げています。どれだけ正しく見える人でも皆どこか、的外れなところがあります。しかし神様はそんな的外れな私たちのために唯一の正しいお方である神の独り子イエス・キリストを地上に遣わしてくださいました。イエス・キリストを信じる人は、まるで上から真っ白な服を着せてもらったように、正しい人として見て頂けると聖書は約束しています。

私たちの先達である先に召された兄弟姉妹はこの意味で、皆、正しい人です。そして正しい人の祈りは力があり、効果があります。私たちの日々の歩みはその信仰の先達たちの数えきれない祈りに支えられていると言えます。今朝ここに私たちが集っているその背後には、私たちのため執り成し祈ってくれた多くの信仰者がいることを今朝改めて心に留めたいと思います。

今も世界では正しさの名のもとに大きな争いが続いています。神様はそのことにどれほど心を痛めておられることでしょうか。全ての人が自分の正しさを誇ることをやめ、自分の罪を謙虚に互いに告白し、祈り合うなら、私たちは本当の意味で一つになることができることでしょう。そのためにイエス・キリストは今も天で私たちのために執り成し祈ってくださっています。

私たちは無数の正しい人の祈りに支えられて今があることを思わされます。そしてまた私たちも、イエス・キリストの御名によって今朝祈りを合わせたいと思います。正しい人、イエス・キリストのゆえに私たちの祈りを聞いてくださる神に期待し、信頼して、新しく歩みだしていきたいと思います。